

第 11 回 札内川技術検討会が開催されました



第 11 回札内川技術検討会の様子（帯広市内，とちか館にて）

第 11 回札内川技術検討会が平成 30 年 2 月 15 日（木）に開催されました。

札内川技術検討会 委員名簿（敬称略，五十音順）

【第 11 回検討会の議題】

- (1) 礫河原再生の取り組みについて
- (2) 情報提供

氏 名	所属等
泉 典洋	北海道大学大学院 公共政策学連携研究部 教授
斎藤 新一郎	環境林づくり研究所 所長
新目 竜一	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 水環境保全チーム上席研究員
中村 太士	北海道大学大学院 農学研究院 教授
藤巻 裕蔵	帯広畜産大学 名誉教授
柳川 久	帯広畜産大学 教授
矢部 浩規	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地水圏研究グループ 寒地河川チーム上席研究員
渡邊 康玄	北見工業大学 教授
オブザーバー	国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所

【委員からの主な意見】

■議題 (1) 「礫河原再生の取り組み」に関する意見

「資料 1 平成 28 年 8 月出水による河道内の変化状況と今後の対応策」について

- ・平成 28 年 8 月出水により礫河原は広がったが、比高差が拡大してフラッシュ放流で冠水しないところが結構ある。比高差が拡大した礫河原は、樹林化が懸念される。これらの箇所の植生侵入を監視していく必要がある。
- ・新たに設置する L 工区の目的は、主流路を堤防から離すことで、分流させることによって堤防方向への側岸侵食が減少したということだと思う。
- ・これまでに、維持できる流路は 2 本までで、流路が 2 本あるところで新しく流路を掘削すると維持が難しいという知見が得られていたと思う。また、引き込み掘削は、急勾配化する箇所で実施した方が効率的だという知見を得て、これまで進めてきたと思う。これまでの知見を活かして、掘削箇所を選定することが望まれる。
- ・全国的に、樹林化後、掘削して再樹林化するというケースが多いようである。札内川の将来的な期待としては、これまでより十分安価に、自然の水の流れである程度コントロール

できるようにしている点だと思う。全国でこのような手法を行使したときの基準となるように、委員から指摘があったような必要なパラメータを加えて整理する必要がある。

- ・他河川で実施されている砂州への流路掘削は、治水上の問題で場所が決まっており、本川より低く掘削するなどの工夫がされている。札内川でも、もう一工夫必要になるかもしれないので、そのような視点で検討していくと良いと思う。
- ・これまでの結果を見ると、天地返しはすごく機能していると思う。
- ・天地返しは、ひこばえ（萌芽）が1回出てから、初夏に実施するのが良い。萌芽して生長するものは、1年で1メートルずつ伸びてすぐに樹林化してしまうので、その前に対応する必要がある。
- ・天地返しの実施時期も記載しておく、他の河川でも参考にすることができると思う。

「資料2 魚類やチドリ類の生息状況」について

- ・魚類・底生動物調査では、主流路と副流路の関係性が分かるようにした方が良い。
- ・礫河原単位面積当たりのチドリ類の数を出せると思う。出水前後で単位面積当たりの数が変わっていなければ、礫河原の面積増加に伴ってチドリ類が増えたと言える。
- ・平成28年に発生した洪水の8月は、チドリ類の繁殖が終わっていたため、影響が出なかったということだと思う。
- ・私が行っているプロジェクトの事後調査でも、あれだけの洪水があったにも関わらず、川の中の生物はあまりダメージを受けていないという結果だった。どこに逃げているのかと思うが、出水前後で個体数も種数も大きく変わらなかった。

「資料3 平成30年度 札内川自然再生（礫河原再生）実施計画書（案）」について

- ・平成28年8月の洪水を受けて、「礫河原再生の管理幅」を見直すかどうかという議論もあったが、これまでの考え方にに基づき、「管理幅」は変えずに取り組んでいくということである。
- ・これまでに行ってきた色々な試みは、それなりに成果が挙げられていると思う。
- ・今後は、札内川で実施している引き込みや天地返しといった技術を、他の河川でも利用できるように、技術指針のようなかたちでまとめていきたい。それにより、札内川の取り組みが先進的だと証明されることになると思う。

■今後の予定

- ・本日の議論を踏まえ、知識等をきちんととりまとめ、関連する調査、検討の準備を進めていきたいと考えている。
- ・平成30年度のフラッシュ放流については、今後融雪期を迎えた状況も鑑みて時期や規模を検討し、都度、委員の先生方に情報提供して指導を仰ぎながら実施していきたいと考えている。引き続きご指導をお願いしたい。

【お問い合わせ先】

札内川技術検討会事務局：北海道開発局 帯広開発建設部 治水課 札内川技術検討会担当まで
帯広市西4条南8丁目 TEL：0155-24-4105、FAX：0155-27-2377
～札内川技術検討会は公開です。どなたでも傍聴していただくことができます～